

行政事業レビューシート (文部科学省)						
予算事業名	我が国の写真フィルムの保存・活用に関する調査研究		事業開始年度	平成19年度	作成責任者	
担当部局庁	文化庁		担当課室	芸術文化課	芸術文化課長 山崎 秀保	
会計区分	一般会計		上位政策	芸術文化の振興		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	文化芸術振興基本法 第8条		関係する計 画、通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第2次方針) (平成19年2月9日閣議決定)		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	我が国の近現代を撮影した文化的・歴史的に貴重な財産である写真原板の散逸を防ぎ、その活用を図る観点から、当該資料について調査を行い、その保存や活用の在り方について調査研究を行う。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	昭和20年から昭和45年頃までに撮影された写真フィルム(主に物故写真家が撮影した写真フィルム)等について、ネガ台帳の作成、写真のプリント及びデジタル化を行い、それらを元にした写真データベースのプロトタイプを作成する。(平成21年度) 調査研究は、広く写真文化の向上を目的としているとともに、写真(作品、原板を問わない)や写真史に関する専門的知見を有し、国内外の関係団体、関係者等との連絡調整が可能な団体等に委託して実施する。					
実施状況	平成21年度においては、社団法人日本写真家協会に調査研究を委託。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	9	9	12	10	—
	執行額	8	8	10		
	執行率	88.9%	88.9%	83.3%		
	総事業費(執行ベース)	9	9	10		
自己点検	支出先・ 用途の把握水準・ 状況	委託業務期間終了後に提出される委託業務完了報告書において、支出先・用途を把握し、使用状況や業務計画書の記載内容との整合性について確認を行っている。また、必要に応じて契約関係書類を提出させる等により、支出先・用途の把握を万全のものとしている。				
	見直しの 余地	平成19年度より本調査研究を実施し、写真フィルムの所在情報や保存状態の把握を行うとともに、写真フィルム of データベースのプロトタイプ版を作成するなど、これまで一定の成果が得られたところである。 今後、写真フィルムのデータベースの構築を進めるとともに、その活用が図られるよう、事業実施の内容等について検討を行う必要がある。				
予算・ 監視の 所見率 化	1. 事業評価の観点:この事業は、我が国の近現代を撮影した文化的・歴史的に貴重な財産である写真原板の散逸を防ぎ、その活用を図ることを目的に実施するものであり、調査研究事業の見直しの観点から検証する。 2. 所見:事業開始から4年目を迎え一定の成果を得たものと見受けられることから、廃止すべきである。					
補記						

文化庁
10百万円

団体等から提案のあった事業内容を
審査の上、委託する事業を選定し、委
託契約を締結する。



【一般競争入札・委託】

A（社）日本写真家協会
10百万円

昭和20年から昭和45年頃までに撮
影された写真フィルム（主に物故写
真家が撮影した写真フィルム）等
について、ネガ台帳の作成、写真のプ
リント及びデジタル化を行い、それら
を元にした写真データベースのプロ
トタイプを作成する。

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. (社)日本写真家協会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸謝金	調査委員等謝金、原稿料等	5			
役務	調査資料運搬、送料、会場費等	3			
消耗品費	整理用ファイル・ボックス、ネガ台帳	1			
一般管理費		1			
計		10	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0